

きんゆうフィット

地域とともに その先へ

社内の工場で横内昭次郎会長を中央に、横内秀男専務取締役・工場長(右)と横内真樹取締役営業部長



創 業 1966年4月に個人創業、69年10月に株式会社化
代 表 者 会長・横内昭次郎、社長・横内秀男 (会長は2014年秋の叙勲で旭日双光章を受章)
所 在 地 横浜市都筑区大瀬町111
社 員 数 18人
電 話 045 (471) 9757

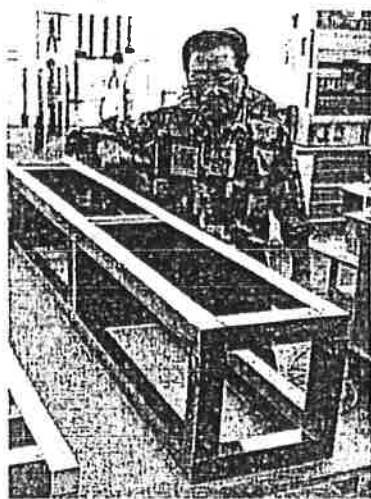
木工3次元加工技術に強み

横内製作所

開業初となるリオデジャネイロ五輪の開催まで2カ月を切った。日本と平日違う時差に、テレビでライブ観戦を楽しみにしている視聴者にとっては嬉しいところだが、各種観戦とは別に気になっている。各社が競って、ある放送局の現地特設スタジオがある。音響機器などを取った仕器(スタジオ専用)タービンなどの試作品開発に携わ

リオ五輪に半世紀の技

スタジオ家具の仕上がりを確認する横内会長



オデジャネイロ

技術力はもちろん、標準化するうえで欠かせない原価計算にもたけていた力量が社内外の目に留まり、また重鎮の後押しもあって開業を果たす。それから約半世紀。同社の主力製品は海外で足跡を残すようになる。

はじめ、発泡樹脂などによる試作モデル製作や、コンピューター制御で多様な加工を全自動で行うマシン(クセスター)による3次元加工(樹脂金型)といったメニューがずらりと並び、そのなかで、音響機器などを収めるスタジオ家具は今夏、日本の東側にあるブラジル・リオデジャネイロの特設放送局での活躍が待っている。約10年前から、キャビネットの延長でスタジオ向け仕器の製作に乗り出し、その技術は東京芸術大の音響室(スタジオ壁面)にも生かされている。

スタジオ家具 特設放送局で採用

ではニアビストルのクリップ部分に採用される。本物のクリップにはオールナットが使用されるが、筑波大で3Dスキャンしたクリップを、選手の手でフィットする木で仕上げた。

店舗仕器の設置場所は、羽田、成田、関西の各国際空港にも及び、免税品が陳列されている。取締役営業部長の横内真樹氏は「店舗仕器は照明を使うので、電気技師が必要。規格基準も厳しい」と話す。設置場所を増やしていくには、有力な企画設計会社といかに協働していくかにかかっているとみている。

取引金融機関はかながわ信用金庫(本店)神奈川県横須賀市)。同借金を含め神奈川県内全8信金が年1回、合同で開く商談会に昨年に、プースを出した。それをきっかけに2社を訪問する機会を得たが、同社では期待を込めて「見本市の橋を越えた」イベントへの発展を望んでいる。